

[友朋会広報誌]
vol.64

風だより



Contents

02 第39回 西日本芸術療法学会報告

03 ワークショップに参加して

04 地域連携室通信・友朋会理念

05 看護の日報告

06 佐賀県障害者スポーツ大会へ参加して

07 盆踊り大会が開催されました!
中山智二主任表彰

08 診療科の紹介及び診療担当医師一覧表
患者様の権利宣言(一般科)(精神科)

第39回 西日本芸術療法学会報告

医局 谷口研一朗、秘書室 濱村美津子



シンポジウム

第39回 西日本芸術療法学会が7/3(土)・4(日)の2日間、当院にて開催されました。

この学会は当院の創設理事長 故中川保孝が中心となり立ち上げた学会で、本拠地の友朋会での開催という事で「友朋会」ならではの「おもてなし」にスタッフ一同“力”が入りました。

第1日目 午前10:30施設見学会がドシャ降りの雨の中スタート。1時間強の見学会が終わり、午後からは「音楽」「描画」「箱庭」「陶芸」療法のワークショップ。各方面の先生方にご尽力を賜り、楽しいワークショップとなりました。

午後4時、いよいよ開会式! 会場に準備した席が満席になる程のご参加を頂き、今大会を盛り上げて頂きました。

研究発表会終了後は、嬉野温泉病院内・アートセラピー美術館に於いて懇親会が行われました。懇親会ではまず本学会理事長、いずみ病院・高江洲義英先生からご挨拶をいただき、続いて本学会大会会長、佐賀大学医学部精神科・山田茂人教授の乾杯の挨拶により和やかに始まりました。

料理は日清医療食品様のご協力によるビュッフェ形式で、山海の幸はもちろん、嬉野の特産、嬉野温泉湯豆腐とだご汁が振舞われ、参加者から大変な好評を頂きました。

懐かしい再会や新しい出会いの時をしばし過ごしていただいた後、会の半ばで、当院理事長・中川龍治から、美術館内に展示されている絵画等の説明があり、参加者もその歴史に強い関心を示されたようです。その後、美術館2階ホールで当院・面浮立チームの演舞が披露され、喝采を頂きました。会はさらに盛り上がりを見せ、2日目のシンポジストでもある、たなか病院・齊藤孝由先生のピアノ弾き語りによる「オーソレミオ」独唱、続く高江洲義英先生のピアノ伴奏による「荒城の月」独唱で最高潮を迎えました。

懇親会を通して、学会参加者の親睦が深まり、芸術について語り合う有意義な時間を提供できたのではないかと思います。

第2日目も生憎の雨の中、1日目に引続きたくさんのご参加を頂き、研究発表会、高江洲先生の力強い特別講演と続き、午後からのシンポジウムでフィナーレを迎えました。今大会を通して「芸術」が患者様はもちろん、我々の心にも響くことを改めて教えられた気がします。

ご参加の方の中から「旅館以上の「おもてなし」と、スタッフとしてこの上ない声も頂き、来年(6月25日・26日)も当院での開催となり、ますます“力”が入るスタッフ一同でありました。

ご協力くださった先生方はじめ、ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。

ご協力くださった先生方はじめ、ご参加くださった皆様、本当にありがとうございました。



アートセラピー美術館 懇親会



懇親会アトラクション(面浮立)



シンポジウム

ワークショップに参加して

作業療法科 芸術療法士 鳥井敬輔



当日私は、飯塚記念病院の作業療法士田中みどり先生が実施された描画療法のワークショップ(体験型講座)のお手伝いをさせていただきました。

描画療法のワークショップ(以下ワーク)の内容については治療的な意味合いもあり、詳細については説明できませんが、「自分との出会い・他者との出会い。描画を用いたグループワーク~コミュニケーション再考への足がかりとして~」というタイトルでワークが実施されました。

はじめに集団描画療法の内容や目的、対象者、コミュニケーションを再考するにあたり念頭においていること、参加者に伝えていることなどについて説明があり、続いて個別描画と共同描画の体験が実施されました。各ワークの後に参加者同士が作品を紹介しあい、感想を述べ合っていました。

参加者同士の話の内容としては描画をしている時に感じたことや、参加者同士が作品を紹介し合うなかで、自分と他の人との違いに気づいたこと、自他に関わらず、ワークの場で作られた作品を認め、受け入れられていく発言などが聞かれました。絵を挟むことと、田中先生の暖かい場づくりのおかげですぐに打ち解け、和やかな雰囲気の中でワークが実施されていました。

今回のワークを通して、絵を挟んで自分と他者の違いに気づき、コミュニケーションのあり方について考えたり、感じる機会があることなど、お手伝いといいながらもよい学びの機会となりました。今後の治療の場面でも活かしていきたいと思えます。田中先生、参加者の皆様、本当にありがとうございました。



音楽療法



陶芸療法



地域連携室通信



秋とは申しながらも残暑厳しい日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか?今回は精神科地域連携室より、受診・入院相談時の関わりや新患外来予約対応と平成21年度精神科外来新規患者様の状況についてご紹介させていただきます。

精神科地域連携室では、窓口やお電話でご本人・ご家族、または医療・福祉施設、行政機関等からの受診・入院相談を受けています。相談受付後、精神科医や外来看護師、心理士と連携をとりながら、受診日を調整していくという流れで精神科外来受診までの橋渡しを行っています。精神科外来の新規患者様の診察は月曜から金曜までの午前中に、1日4名程度行われています。今では皆様のご協力により新患予約制も浸透しています。

受診当日は、診察予約時間の1時間前に来院していただくことを基本としており、ソーシャルワーカーで予診を実施し、もの忘れが疑われる場合には、MMSE(もの忘れの程度をはかる検査)を実施して診察の準備を行います。この際、受診されるご本人や話を伺うご家族と初めて接する職員として、不安が少しでも和らぐように問いかける言葉にも注意を払っています。

次に平成21年度精神科新規患者様の状況についてご紹介いたします。年齢別内訳では、70歳以上の高齢者の方が全体の39.3%を占めました。居住地別内訳では、嬉野市・鹿島市・武雄市の3市で59.5%を占めており、この他にも杵島地区や佐賀市方面、長崎・福岡等県外からの受診もみられました。疾患別内訳では、神経症が全体の24.1%を占め最も多く、次いでアルツハイマー型認知症21.9%、うつ病15.6%の順で多くみられました。平成21年度は、アルツハイマー型認知症、脳血管性認知症、その他認知症疾患で全体の29.5%を占めました。平成20年度と比較しても増加しており、H21年4月にものわすれ外来を開設した影響ではないかと考えております。

今後も精神科を受診される方に安心して来院いただけるように、院内関係部署や院外関係機関との連携を図っていきたく考えます。今後ともよろしく願い致します。

作成者: 廣瀬千鶴 山崎二美



友朋会理念 「患者様のために」

基本方針

1. 患者様一人ひとりの立場になって、提供すべき医療・福祉を考え実践する
2. 愛情のある医療・看護・介護・リハビリ・福祉を実践する
3. 患者様の退院支援・生活支援・就労支援において更なる向上を図る
4. 芸術療法を実践する
5. 治療空間としてアメニティーを重視する
6. 地域に必要とされる医療を実践する
7. 認知症への取り組みにおいて地域のリーダーとなれるよう努力する
8. 児童・思春期の精神医学分野においてその専門性を高める
9. 院内におけるチーム医療および地域の関係諸機関との連携を強化する
10. 医療従事者として自己研鑽に精励する

職業倫理に基づく行動指針

1. 患者様の自己決定権を尊重する
2. 患者様が自己の情報を知る権利を保障する
3. 患者様がセカンドオピニオンを求める権利を保障する
4. 患者様に安全で質の高い医療を提供することに最善を尽くす
5. 患者様に医療的な説明を十分に行う
6. 患者様に治療に関する同意を確実に得る
7. 患者様の「基本的人権」を保障する
8. 患者様の尊厳を保つ
9. 患者様の終末期医療について理解を深め、その実践に努力する
10. 患者様の個人情報を守る



看護の日報告

南1病棟 光武敦子

5月12日は「看護の日」です。これはナイチンゲールの生誕を記念し制定され、高齢社会を支えていくために一人ひとりがお互いを思いやり、ひとに対する世話や看護について理解を深めるよう記念行事を行い、看護の心について普及啓発を図ることを趣旨とされています。当院におきましても5月8日(土)「看護の日」の記念行事を、西外来駐車場と孝心の里で開催いたしました。面会者や地域住民の方を対象に健康相談、健康チェック(血圧測定・体脂肪測定)を行い、パンフレットを元にメタボリックシンドロームについて説明を行いました。来場者数は58名のうち40~60歳代が60%でした。体脂肪や血圧への興味を示される方が多く「血圧は家でも測っています」「体重や体脂肪は気になるけど、運動は・・・」「どんなことに気をつけたほうがいいですか」など健康への関心の高さを知ることができました。毎年楽しみに参加されている地域の方もおられ、また今年は孝心の里で足湯を利用していただくこともできました。「看護の日」の記念行事の開催にあたっては、今年も多くの方々の協力を頂き皆様には感謝申し上げます。



佐賀県障害者スポーツ大会へ参加して

精神科デイケア 吉田 信



今回、初めて第9回障害者スポーツ大会への出場案内が届きました。メンバーの方へ大会の趣旨説明を行い、参加人員を募ると卓球への参加が11名、フライングディスクへの参加が5名集まりました。選手はデイケアのみの利用者や就労後ナイトケアを利用者されている方など様々で、一緒に練習する事はなかなかできず、試合までは昼休みやデイケア終了後など個々に時間を作り練習に励まれる光景が見受けられていました。

当日は、選手13名と応援者12名、スタッフ6名の31名で佐賀県総合運動場へ向け、デイケアセンターを8時に出発しました。開会式では、県内から総勢700名以上の参加者と県知事の挨拶などもあり、開会式へ参加された方は大会の規模の大きさに驚かれ少し緊張もされていました。

卓球では精神、知的、身体の障害区分で15パートに各5名ずつに分かれ対戦を行いました。結果はパート優勝が1名、2位が3名など上位を占めることができました。選手からは「相手が上手かった。来年はもっと練習をして優勝したい」などの声があがっていました。応援者も団体行動を守り、最後まで応援席から大きな声で声援を送られていました。フライングディスクは陸上競技が行われている陸上競技場のフィールド内で行われ精神、知的、身体の障害者が同じ競技で記録を争う種目でした。結果はパート優勝が2名で内1名の記録は37.5mと好成績を残す事ができました。

次回の開催時には、今回以上の参加者で挑みたいと思います。



盆踊り大会が開催されました!



平成 22 年 8 月 5 日、東病棟訓練室にて盆踊り大会が開催されました。今回は、東病棟と中央 2・3 病棟との合同開催となり、総勢 39 名の参加となりました。

吉田女面浮立による踊りの披露、みどり保育園園児による踊りと交流、職員と患者様による歌の出し物、職員による盆踊り等内容も盛りだくさんであり、参加者の皆様も表情良く過ごされ、楽しめる姿をみることができました。

中山智二主任表彰!!

施設管理課の中山智二主任が 7 月 10 日佐賀県高等学校野球連盟から、長年に渡り審判員を務めた功績として表彰を受けました。県下の高校野球の発展のために陰ながら支えてくださっています。ちなみに友朋会では院内の広大な面積の木々や草花の管理を担当し、当院でも縁の下の力持ちとして大きな存在です。



診療科の紹介及び診療担当医師一覧表

*診療時間 ○月曜～金曜

○午前の部/8:30～12:30(第1土曜 8:30～12:30) ○午後の部/13:30～17:00

※ただし、水曜、金曜の眼科外来は10:00より開始

*休診日/第2・3・4・5土曜、日曜、祭日、年末2日、年始3日間

*予約診療/待ち時間短縮のため、予約診療とさせていただきます。ただし、新患、急患の場合は随時受け付けます。

日曜診療は精神科第2、第4日曜の午前中に予約診療を行っています。

平成22年9月1日現在

診療科目		月	火	水	木	金	土	
精神科	(新患)	精神科一般	1 菅高	三根	谷口	富松	奥	担当医
			2 谷口	吉本	菅高	奥	富松	
		ものわすれ	1 吉本	松尾	田中	松尾	椎葉	
			2 中山	中山	谷口	田中	松尾	
	(再来)		富松	田中	中山	吉本	三根	予約者のみ
			松尾	谷口	奥	中山	菅高	
内科		榎	木原	竹下	林原/岡本	岡本	非常勤医師	
泌尿器科		倉富	江原	倉富	江原	倉富	倉富	
眼科		崎戸(13時～)		崎戸(10時～)		崎戸(10時～)		

*眼科の診療時間 ○月曜日 午後のみ13:00～17:00 ○水・金曜日 午前10:00～12:30 午後13:30～17:00

患者様の権利宣言(一般科)

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

- 個人の尊厳を守る権利
常にひとりの人間としての人格を尊重される権利があります。
- 公平で差別されない治療および対応を受ける権利。
平等で差別されない治療および対応を受ける権利があります。治療で達成可能な最良の医療を受ける権利があります。
- インフォームド・コンセントと自己決定権
治療・検査について、分かりやすい説明を受け、医療の内容を理解し同意した上で適切な治療および対応を受ける権利があります。自分の治療計画に参加し、自分の意見を表明し、自己決定できるようにサポート(援助)を受ける権利があります。
- 情報に関する権利
当院で行なわれたご自身の診療に関する情報の提供を受ける権利があります。
- プライバシーの保護と秘密保持の権利
医療の過程で得られた個人情報は、秘密として遵守され患者様・家族様の承諾なしに開示されない権利があります。
- その他の権利
退院後の地域における生活を見据えた治療計画が立てられ、それに基づく治療や福祉サービスを受ける権利があります。

入院中の患者様は、適切な医療を受け、安心して治療・療養に専念することが出来るよう上記の権利を有しています。また、これらの権利が患者様・家族様および病院職員をはじめ全ての人々に十分に理解され、それが保障されることを患者様の人権を尊重した医療を実現していく上で欠かせない重要なことであることをここに明らかにします。

患者様の権利宣言(精神科)

医療法人財団 友朋会 嬉野温泉病院

- 常にどういときでも、個人として、その人格を尊重される権利
暴力や虐待、無視、放置など非人間的な対応を受けない権利
- 自分が受ける治療について、分かりやすい説明を理解できるまで受ける権利
自分が受けている治療について知る権利
- 一人ひとりの状態に応じた適切な治療及び対応を受ける権利
不適切な治療及び対応を拒む権利
- 退院して地域での生活に戻っていくことを見据えた治療計画が立てられ、それに基づく治療や福祉サービスを受ける権利
- 自分の治療計画を立てる過程に参加し、自分の意見を表明し、自己決定できるようにサポート(援助)を受ける権利また、自分の意見を述べやすいように周りの雰囲気、対応が保障される権利
- 公平で差別されない治療及び対応を受ける権利
必要な補助者等をつけて説明を受ける権利
- できる限り開放的な、明るい、清潔な、落ちつける環境で治療を受けることができる権利
- 自分の衣類等の私物を、自分の身の回りに安心して保管しておく権利
- 通信・面会を自由に行える権利
- 退院請求を行う権利及び治療・対応に対する不服申立てをする権利
これらの権利を行使できるようにサポート(援助)を受ける権利
また、これらの請求や申立てをしたことによって不利に扱われない権利

入院中の患者様は、適切な医療を受け、安心して治療に専念することができるよう、上記の権利を有しています。これらの権利が、患者様本人および医療従事職員、家族をはじめ全ての人々に十分に理解され、それが保障されることこそ、患者様の人権を尊重した安心してかかれる医療を実現していく上で、欠かせない重要なことであることをここに明らかにします。



医療法人財団 友朋会

〒843-0394
佐賀県嬉野市嬉野町大字下宿乙1919
電話:0954-43-0157
FAX:0954-43-3440
E-mail:info@yuhokai.com
URL:http://www.yuhokai.com/

- 嬉野温泉病院 0954-43-0157
 - 精神科デイケア・ナイトケアセンター 0954-43-0194
 - 老人デイケアセンター 0954-43-0233
 - 介護老人保健施設 朋寿苑 0954-42-2900
 - 友朋会介護サービスセンター 0954-20-2531
 - グループホーム 千寿荘 0954-43-0157
 - 授産施設「希望」 0954-43-0249
 - 地域連携室 0954-43-0255
 - 小規模多機能ホーム「孝心の里」 0954-43-7550
 - ものわすれメンタルクリニック 092-534-5151
- 〒815-0082 福岡市大橋2-19-20ピュアドームエレガント平尾3・4F